

悪徳の栄え (1962)

LE VICE ET LA VERTU

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1963/06/11
公開情報 MGM
リバイバル 1994/12 [アルバトロス]

【解説】

サドの代表作『悪徳の栄え』『美徳の不幸』を、ナチス支配下時のフランスに置き換えてヴァディムが撮った、バロック的官能美に満ちた傑作。美貌と大胆さでナチ將軍の情婦に成り上がる姉ジュリエットにA・ジラルド。レジスタンスの恋人を奪われ、姉のもとに直訴に来たところを、冷酷な将校シェーンドルフに見そめられ、高官の慰み者に仕立て上げられる無垢な妹ジュスティーヌにC・ドヌーヴ。妹が幽閉されるスイス国境の騎士館は同じ境遇の女たちの“園”と化していて、その辺りの描写にヴァディムのイズムが覗く。姉と将校の屈折した関係の捉え方も巧い。甘美なテーマ曲がドラマを盛り上げ、歴史の大波に翻弄される健気なヒロインを際立たせる。可憐だが堂々としたドヌーヴ。ヴァディムに私生活の上でも愛されているせいか、カメラを見つめる瞳のゆらめき、艶めき、尋常でない。

【クレジット】

監督 ロジェ・ヴァディム Roger Vadim
原作 マルキ・ド・サド Marquis De Sade
脚本 ロジェ・バイセン
ロジェ・ヴァディム Roger Vadim
撮影 マルセル・グリニヨン Marcel Grignon
音楽 ミシェル・マーニュ Michel Magne
出演 アニー・ジラルド Annie Girardot
カトリーヌ・ドヌーヴ Catherine Deneuve
ロベール・オッセン Robert Hossein
O・E・ハッセ O.E. Hasse
セルジュ・マルカン Serge Marquand
ルチアナ・パルッツィ Luciana Paluzzi